

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2023年11月15日 第381号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiraheiva.web.fc2.com/



2023平和の旅

紅葉の福島路を満喫

24人が参加、震災の爪痕と復興の息吹を見聞

原発の罪深さを実感、「原子力事故はまだ終わっていない」

3年ぶりの平和の旅は24名が参加し、11月7・8日に福島県猪苗代、磐梯高原および原発被災地を訪れました。

1日目は雨にも見舞われましたが、猪苗代湖畔の野口英雄記念館と福島市内にある作曲家古関裕司記念館を見学。福島の生んだ二人の偉業に触れることができました。宿泊は奥州3大名湯の一つ日本武尊も病を癒したという飯坂温泉の伊藤園葉やホテル。

2日目は前日とは打って変わっての好天。南相馬市で日本共産党南相馬市会議員の渡部寛一さんと合流。渡部さんの案内で南相馬市の復旧、復興について説明と「震災遺構 請戸小学校」及び「東日本大震災・原子力災害伝承館」を見学。

避難指示区域であった南相馬市小高地区は、平成28年に避難指示が解除されたが、震災・原発事故前の居住人口12,842人に対し本年3月で3,812人と震災前の30%程度にとどまっている。しかも65歳以下の人口も震災前比で72.1%から51.1%と減少し、少子化、高齢化が進むなかで医療、健康・福祉、教育関連など避難指示区域の再生が大きな課題とのことです。

浪江町沿岸部の請戸地区には15mの津波が襲い、町立請戸小学校も2階まで津波が押し寄せたが、児童生徒、教職員は的確な判断と行動で一人の犠牲者も出さずに避難できたということです。校内の教室や職員室、体育館などは、剥がれ落ちた壁、崩れ落ちた天井、倒れた棚、散乱する印刷物など当時のままで保存されており、地震、津波の凄まじさを物語っていました。過去から学び、未来につなげるために「震災遺構 浪江町立請戸小学校」として災害時そのままの姿で残すことにしたとのことです。

東日本大震災・原子力災害伝承館は未曾有の



地震・津波、原発事故災害の記録と記憶を教訓として防災・減災の教訓として未来につなぐ目的で、2020年福島県が双葉町に建てた極めて立派な施設です。館内は原発事故災害を中心に、様々な資料、映像やタッチパネル解説、語り部講和などを通して原発事故のもたらした被害状況や復興の取組みを見ることができました。

参加メンバーの長坂さんは放射能測定を行いました。南相馬市の道の駅で土浦の2倍を記録、国道6号で双葉町からいわき市に向うバスの中でも所々1ミリシーベルトと高い値を示し、アラームも鳴りました。依然として高い放射能、進めぬ廃炉作業、森林の除染、大量の汚染残土、たまり続ける汚染水と海洋放出、被災者への賠償など・・・いまだに多くの問題を抱えており原子力事故はまだ終わってはいません。原発の罪深さを実感した旅でした。

帰りのバスでは参加者からは、震災当時の自らの経験と合わせて「原発はご免だ。災害のことは忘れてはならない。東海第二の再稼働はダメ。今日見たことを広く知らせたい。勉強になった。」などの感想が寄せられました。

帰りは小名浜港魚市場にある「いわき・ら・ら・ミュウ」で休憩し、土浦には6時過ぎ無事到着。



殺すな！ ガザ侵攻STOP 即時休戦を

パレスチナも 市民の殺りくやめよ！ イスラエルも

人道的休戦を求めた国連総会決議の採択を歓迎する
日本政府の棄権は恥すべき行為

「戦争する国」づくりを許さず
「平和の準備」をすすめる

茨城大集会

と き： **11月18日**(土)午後1時30分～

ところ： 水戸駅北口デッキ

内容： リレートークとパレード

怒りと要求の結集を

- 大軍拡・大増税はやめよ！
- 東海第二原発の再稼働反対！
- 福島第一原発の汚染水海洋放出を止めろ！
- インボイスは廃止せよ！
- マイナ保険証を中止し保険証を残せ！
- 野党連合政府で希望ある政治の実現を！



主催：茨城県革新懇

2023年 日本平和大会 in 鹿児島

オンライン土浦会場 11人が参加

11月11日(土) 13:00~15:30

日本平和大会in鹿児島のオンライン土浦会場(ワークヒル土浦)には、土浦、霞ヶ浦、阿見から11名が参加しました。4年ぶりのリアル開催となりました。

開会集会では韓国、ウクライナ、ベルギーの平和活動家が連帯あいさつしました。九州・沖縄地区の12の平和諸団体が活動の報告、政党からは日本共産党、立憲民主党、社会民主党、れいわ新撰組、沖縄の風が連帯の挨拶。沖縄県玉城デニー知事も連帯挨拶しました。(実参加およびオンライン参加)



憲法共同センター 次回行動は 11/19

11月街頭アピール行動

憲法9条生かした平和外交を！

11月19日(日)午前10時～
ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ・ブッカードをもつて参加ください



10月行動では、「爆撃やめろ！パレスチナに平和を！殺すな・戦争やめろ・即時停戦を」の横断幕も加わりました。



2023新聞平和広告賛同のお願い 12/8に「朝日」で訴えます

テーマは「自衛隊への個人情報提供No!」
賛同者は 個人 1□1,000円(何口でも)
 団体 1□3,000円(何口でも)

「申込書」は理事ルート、ニュース配布ルート等で配布中です。または、理事宛お声かけください。

メッセージ

「若者に何を伝えるか」

日本高齢者大会の全体会(11/13東京)で講演した柳澤協二氏(元防衛官僚)が最後に示した高齢者へのメッセージ(右)が印象深いものであった。

氏は「戦争しない国であり続けるために」と題した講演の最後を右のパネルで結んだ。高齢者の自己実現は「何を達成するかより、何を伝えるか」、まさに多くの高齢者が感じている焦燥感が示されている。私たちは自らは多くを学んできたつもりだが、後世に伝える努力を怠っているのではないか。柳澤氏が鳴らす警鐘に向き合うことが求められている。(理事・大滝)

「憲法守れ」が若者に通じない時代に

- ◇高齢者の自己実現とは？
*何を達成するかより、何を伝えるか
- ◇戦後世代：憲法は成功体験
戦後世代：自分が守られた実感がない
*自己実現(幸福追求権)は、自分しかできない
- ◇共通するのは、生きている限り市民であること
*納得いくまで考えること・後悔しないように
- ◇戦争は政治の選択・政治は国民の選択

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

